

Research for universal design of sound environment in public space

船場, ひさお/中村, ひさお

<https://doi.org/10.15017/459600>

出版情報 : 九州大学, 2006, 博士 (芸術工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

参考文献

- [1] 例えば 古瀬敏, “デザインの未来 環境・製品・情報のユニバーサルデザイン,” (都市文化社, 東京, 1998).
- [2] 例えば 古瀬敏, “ユニバーサルデザインへの挑戦 住宅・まち・高齢社会とユニバーサルデザイン,” (ネオ書房, 東京, 2002).
- [3] About Universal Design (Center for Universal Design, College of Design, North Carolina State University).
- [4] 古瀬敏, “ユニバーサルデザインの広場 第1回 ユニバーサルデザインってなんだろう,” 月間「ノーマライゼーション」, (2003. 6).
- [5] ユニバーサルデザイン政策大綱 (国土交通省, 2005. 7)
- [6] 例えば 寺島薫, 佐々木恵子, 筑後久典, “小学生の提案によるユニバーサルデザインのベンチ-NPO による「きたかみマイベンチ」の取組み事例から,” 日本福祉のまちづくり学会第9回全国大会概要集, pp. 107-110 (2006).
- [7] 例えば 久保田博, “人にやさしい植物公園を目指して,” 日本福祉のまちづくり学会第9回全国大会概要集, pp. 167-170 (2006).
- [8] 例えば 石塚裕子, 三星昭宏, “ユニバーサルデザインのまちづくりを目指した継続的な取組み-滋賀県守山市UDまちかどウォッチャーの取組み紹介-,” 日本福祉のまちづくり学会第9回全国大会概要集, pp. 477-480 (2006).
- [9] 例えば 岩田三千子, 田中直人, 原利明, “夜間歩行におけるロービジョン者の

- 意識調査,” 日本福祉のまちづくり学会第9回全国大会概要集, pp. 461-462 (2006).
- [10] 「官庁施設の基本的性能基準」(平成18年3月31日 国営整第156号, 国営設第162号)
- [11] 「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準」(平成18年3月31日 国営整第157号, 国営設第163号)
- [12] 横山栄, 向井ひかり, 橘秀樹, “公共空間の音環境に関する実測調査例,” 騒音制御, vol. 23-No4, pp. 228-231 (1999).
- [13] 橘秀樹, 平野滋, “公共空間の音環境設計と騒音制御: 駅コンコース,” 騒音制御, vol. 23-No4, pp. 238-242 (1999).
- [14] 藤井光治郎, 伊積康彦, “駅の音環境の実態,” 音響技術, No. 133, pp. 7-13 (2006).
- [15] 唐沢誠, “地下鉄「みなとみらい線」の音響設計,” 音響技術, No. 133, pp. 26-30 (2006).
- [16] 橘秀樹, “公共空間の音環境のあり方,” 騒音制御, vol. 23-No4, pp. 205-210 (1999).
- [17] 船場ひさお, “公共空間の音環境-音環境のユニバーサルデザインをめざして-,” 日本音響学会誌 60(3), pp. 129-134, (2004).
- [18] 高齢者, 身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律(平成十二年五月十七日法律第六十八号) 最終改正: 平成十七年四月二十七日法律第三十四号(2000).
- [19] 公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン(交通エコロジー・モビリティ財団, 東京, 2001).
- [20] 公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン追補版(交通エコロジー・モビリティ財団, 東京, 2002).
- [21] 中村ひさお, “音環境デザインの現状と今後の望ましいあり方-駅空間の音環境

- デザインを例として一,” 騒音制御, vol. 17-No. 4, pp. 202-205 (1993).
- [22] 中村ひさお, “音環境デザインとは一音楽を騒音としないために一,” 日本音響学会音楽音響研究会資料, MA2001-4, (2001).
- [23] 芦川聡, “波の記譜法,” レコード《波の記譜法》シリーズ ライナーノート, (1982).
- [24] 中村ひさお, 竹下茂, “公共空間における音環境デザイン～札幌高架下屋内街路音の遊歩道～,” 日本音響学会騒音・振動研究会資料, N-96-5, (1996).
- [25] 中村ひさお, 小林英夫, “横浜国際総合競技場 人工地盤における音環境デザイン,” 平成 10 年度日本騒音制御工学会研究発表会講演論文集, pp. 13-16, (1998).
- [26] 前田耕造, “神戸市営地下鉄海岸線の音環境デザイン,” 日本サウンドスケープ協会設立 10 周年記念シンポジウム資料, pp. 20, (2003).
- [27] 岩宮眞一郎, “音の生態学一音と人間のかかわり一,” (コロナ社, 東京, 2000).
- [28] 佐藤公信, “公共的内部空間における音情報の提示方法の違いが情報伝達の有効性に与える影響に関する研究,” 東京大学博士論文, (2001).
- [29] M. Supa, M. Cotzin and K. M. Dallenbach, “Facial vision: The perception of obstacles by the blind,” JAP, 57 pp. 133-183, (1944).
- [30] Kohler, I. “Orientation by aural clues,” The Research Bulletin No. 4 of the American Foundation for the Blind, pp. 14-53, (1964).
- [31] 関喜一, 伊福部達, 田中良広, “盲人の障害物知覚における障害物の遮音効果の影響,” 日本音響学会誌 50 (5), pp. 382-385 (1994).
- [32] 関喜一, 伊福部達, 田中良広, “盲人の障害物知覚と反射音定位の関係,” 日本音響学会誌 50 (4), pp. 289-295 (1994).
- [33] 太田篤史, “視覚障害者と音環境一視覚障害者の空間認知における聴覚情報の役割と心理構成一,” 横浜国立大学博士論文, (1997).
- [34] 永幡幸司, “視覚障害者が音から場所を特定する過程について,” 日本音響学会誌, 56(6), pp. 406-417, (2000).

- [35] 鹿島教昭, 田村明弘, 太田篤史, 安藤祐子, 鈴木和子, 小澤繁之, “音声情報装置を用いた視覚障害者の歩行実験,” 横浜市環境科学研究所報, No. 26, pp. 79-89 (2002).
- [36] 例えば 倉片 憲治, 久場 康良, 口ノ町 康夫, 松下 一馬, “家電製品の報知音の計測 -高齢者の聴覚特性に基づく検討-,” 日本人間工学会誌 34(4), pp. 215-22 (1998).
- [37] 佐藤洋, “高密度単語を用いた反射音及び騒音が若齢者と高齢者の音声受聴に及ぼす影響の測定,” 日本音響学会聴覚研究会資料, 35(3), pp. 197-202 (2005).
- [38] 佐藤洋, “高齢者と建築空間の音環境,” 音響技術, No. 133, pp. 52-55 (2006).
- [39] Joost M. Festen and Reinier Plomp, “Effects of fluctuating noise and interfering speech on the speech-reception threshold for impaired and normal hearing,” J. Acoust. Soc. Am. 88, pp. 1725-1736 (1990).
- [40] 荘美知子, “利用者からみた商業空間の音環境,” 騒音制御, vol. 23-No4, pp. 220-227 (1999).
- [41] 森長誠, 青野正二, 桑野園子, “都市基幹公園における利用者の喧騒感に関する研究,” 騒音制御, vol. 29-No4, pp. 292-302 (2005).
- [42] 小松正史, “道路沿道のサウンドスケープ,” 騒音制御, vol. 29-No4, pp. 259-264 (2005).
- [43] 小池千尋, 塩川博義, “吉村弘の音環境デザイン,” サウンドスケープ, vol. 8, pp. 15-22, (2006).
- [44] 永幡幸司, “視覚障害者には役立たない視覚障害者のための音によるバリアフリーデザインの事例について,” 騒音制御, Vol. 29-No. 5, pp. 390-396 (2005).
- [45] 松野博文, 北山一郎, 大森清博, 市原考, 原田敦史, “視覚障害者のための誘導システムの開発-視覚障害者用音響式信号機等の実態調査-,” 平成 15 年度兵庫県福祉のまちづくり工学研究所報告集, pp. 112-126 (2003).

- [46] 武田真樹, 佐久間哲哉, “鉄道駅有人改札口における誘導チャイムに関する調査研究-音量及び可聴範囲の実測-,” 日本建築学会大会学術講演梗概集 (環境工学 I) , pp. 99-100 (2004).
- [47] 池田裕二, “IT を活用した情報提供によるバリアフリー化の推進～歩行者 ITS の開発～,” 国土交通省国土技術政策総合研究所アニュアルレポート 2002, pp. 33-36 (2002).
- [48] 鎌田実, “視覚障害者等の歩行支援システムの実証実験,” 日本福祉のまちづくり学会第9回全国大会概要集, pp. 131-134 (2006).
- [49] 身体障害児・者実態調査結果 (平成13年6月1日調査) (厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部, 2002) .
- [50] 木下栄蔵, 統計計算 (啓学出版株式会社, 東京, 1990), pp. 55-58.
- [51] 田村明弘, 高齢者のための建築環境 (彰国社, 東京, 1994), pp. 70-75.
- [52] 平成18年版高齢社会白書, 内閣府 (2006).
- [53] 高齢者の地域社会への参加に関する意識調査結果報告書, 内閣府 (2004).
- [54] 倉片憲治, “高齢者の聞こえと騒音問題,” 騒音制御, vol. 29-No1, pp. 20-23 (2005).
- [55] 野口貴世, “補聴器を利用する高齢者の「聞こえ」の実情と音環境,” 騒音制御 vol. 29-No. 1, pp. 29-33 (2005).
- [56] 補聴器業界最前線 国内の現状と取り組み, 日本補聴器工業会
<http://www.hochouki.com/academy/news/program/index.html>
- [57] 船場ひさお, 井上保雄, “(社) 日本騒音制御工学会認定技士の皆様へのアンケート調査から,” 騒音制御, vol. 29-No. 1, pp. 10-19 (2005).
- [58] まちづくりと交通プランニング研究会, 高齢社会と都市のモビリティ (学芸出版社, 京都, 2004).
- [59] 秋山哲男, 高齢者の住まいと交通 (日本評論社, 東京, 1993).

- [60] 岩宮眞一郎, 中村ひさお, 佐々木實 “都市公園のサウンドスケープ –福岡市植物園におけるケース・スタディー,” 騒音制御 Vol. 19-No. 4, pp. 34-37 (1995)
- [61] Lane, H. L., and Tranel B, “The Lombard sign and the role of hearing in speech,” J. Speech Hear. Res. (14), pp. 677-709 (1971).
- [62] 移動円滑化基本構想策定ガイドライン (案), 社団法人建設コンサルタンツ協会 バリアフリー専門委員会 (2002).